

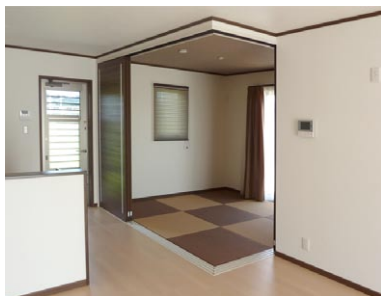
倉敷市内の閑静な住宅地に建つ、 エステサロン兼用の新築住宅。



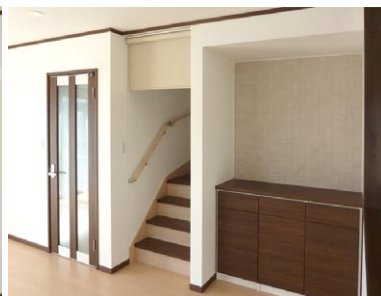
外観は普通の住宅ですが、1階手前の部屋は奥様が営まれているエステティックサロンになっています



日当たりのいいリビングでつろがれる！様のご家族



「多目的に使えて便利」と奥様がおっしゃるキッチン横につくられたタタミスペース



子どもさんの動きがわかるようにリビング階段に、収納をかねたカウンターも重宝されています



奥様が営まれているエステティックサロンには、化粧品や美容機器がたくさん置かれています



バルコニーが広いことも！様邸の特長。スポットライトや水栓もついており、子どもさんのプール遊びもできそう



表札をかねた赤いモニュメント。名前を囲むようにアップルの飾りが取り付けられています



慶太君と愛梨ちゃん



カーポートのコンクリートの上に描かれたアップルの模様



ご家族全員の足型も描かれています

インタビュー
2011.12.25

自宅とエステの店を 一緒に建てました

今回お訪ねした一様邸は倉敷にあります。福山が活動の中心である当社では珍しいケース。しかし、多少離れていても施工やアフターサービスなど、福山同様の行き届いた対応に変わりはありません。

一様が建築に際して出された希望は、「子どもさんの動きがわかるリビング階段であること」。そして「人が出入りしやすいように、玄関を中央に配置すること」などです。

実際、中央の玄関を入ると廊下があり、そこを上がって、右に行けばリビング・ダイニング。左に行けば、一般家庭にはないような美容機器が置かれた部屋があります。

実は、一様の奥様はこの家でエステティックの施術サービスをされており、「こは住居であると同時にエステの店にもなっているのです。」

「以前、住んでいた賃貸住宅でも、一室をエステの部屋に使っていました。この家を建てる時、エステの部屋をつくることは最初から予定していました」と奥様。

店の名前は「アップル」。奥様の好きな果物をそのまま名前にされたそうです。まだ、引越されて日が浅く、本格的な施術営業はこれからということでしたが、閑静な住宅地の一角に自宅兼用のエステの店があるなんて、ちょっと素敵なお話ですね。

専門家のアドバイスは 聞いたほうがいいです

実際の住み心地をお聞きすると、「主人はこれからのローンが大変」と言いながらも出来栄や住み心地には満足されている様子。

奥様は、「キッチンの隣に四畳半のタタミスペースをつくってもらったのですが、その部屋が予想以上に便利です。うちのようになんか子供が二人もいる家庭には、多目的に使える畳の部屋は欠かせませんね」と。また、奥様の「両親が遠方から孫の顔を見に来られた時も、そのタタミスペースがあるので、滞在してもらいやすくなったとか。」

「オール電化住宅ですが、電気代も以前の電気とガスの合計より安くなっていますね。それに断熱性もいいせいか、真冬でもエアコンだけで「せすす」と奥様。

これから家を建てる方に何かアドバイスはありますか。という質問には、「打ち合わせのとき、担当のTさんからエステの部屋を8帖にしたら...と言われました。でも、私の判断で6帖にしたのです。実際出来上がってみるともう少し広くてもよかったです、という気がします。やはり専門家の意見は聞いておくべきですね」とちょっと残念そう。

でも、この奥様ならスペースの足りないところをきくと技術でカバーしてお客様に満足していたたかれることでしょう。